

平成29年度
—大森駅山王口地区まちづくり協議会—
総会資料

平成29年6月15日
大森駅山王口地区まちづくり協議会

【目次】

1. 平成28年度 協議会活動経過報告.....	1
2. 平成28年度 協議会活動のまとめ.....	2
3. 5か年計画に基づく平成28年度の評価.....	3
4. 平成29年度 協議会活動方針(案).....	4
(1)5か年計画に基づく平成29年度協議会活動方針(案).....	4
(2)平成29年度の進め方個別テーマ(案).....	5
5. 大森駅山王口地区まちづくり協議会会則.....	6
■資料 平成28年度の活動報告資料.....	9
1. 多様な活動団体との連携等.....	11
2. コミュニティの場づくり.....	16
3. まちの危険箇所の把握.....	20
4. 池上通り沿いのみちづくりに関する検討.....	23
5. 地元への情報発信の積極化.....	26

1. 平成28年度 協議会活動経過報告

日時	場所	参加者数	内容
平成28年 4月13日 10時00分～12時	山王会館2階	12名	<勉強会> ・山王未来スケッチ ・過去28年間の総決算 ・山王地区まちづくりルール ・池上通り拡幅と沿道のまちづくり
5月11日 10時00分～12時	山王会館2階	13名	<勉強会> ・過去28年間の総決算 ・山王まちづくりルール ・新五か年計画の骨格 ・山王まちづくり協議会ニュース
6月23日 19時～20時	山王会館1階	22名	<総会> ・平成27年度総会 ・過去28年間の総決算 ・池上通りの拡幅に合わせたまちづくり検討 ・山王ブランドづくりに向けた検討
7月20日 10時～12時	山王会館2階	12名	<勉強会> ・平成28年度協議会活動方針 ・大田区山王周辺まちづくり団体
9月14日 10時～12時	山王会館2階	9名	<勉強会> ・多様な活動団体との意見交換会について ・大森貝塚保存会との意見交換 ・コミュニティの場づくり ・大森駅山王口地区まちづくり協議会HP
10月12日 10時～12時	山王会館2階	15名	<勉強会> ・大森コレカラカイギとの意見交換 ・ジャーマン通り花上クラブとの意見交換 ・コミュニティの場づくり
11月9日 10時～12時	山王会館2階	14名	<勉強会> ・大森まちづくりカフェとの意見交換 ・コミュニティの場づくり
12月14日 10時～11時	山王会館2階	11名	<勉強会> ・コミュニティの場づくり ・危険箇所の確認
平成29年 2月8日 10時～12時	山王会館2階	12名	<勉強会> ・危険箇所の確認 ・その他、コミュニティの場づくり、池上通りのまちづくりに関する報告
3月8日 10時～12時	山王会館2階	10名	<勉強会> ・危険箇所の確認 ・平成28年度の成果の確認
3月11日 10時～16時30分	池上会館 1階 展示ホール	3名	<環境フォーラム> ・緑の調査をパネル展示

※今年度も引き続き、原則として第2水曜日の午前に勉強会を開催した。

2. 平成28年度 協議会活動のまとめ

活動内容

活動方針	概要	活動内容	まとめ
1. 多様な活動団体との連携等	<ul style="list-style-type: none"> 山王地区でまちづくりに取り組む多様な団体との連携。 お互いの強みを知り、連携方策（活動の担い手について）を探る。 	<ul style="list-style-type: none"> 大森駅山王口周辺まちづくり団体の活動と考えられる連携方法の検討 地域の活動団体の情報収集 具体的には4つの活動団体へのヒアリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度以降、連携の方向性を検討し、実際に連携していくことを共有した。
2. コミュニティの場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 山王地区にふさわしい“コミュニティの場”の在り方を探る。 既存コミュニティの場、不足しているコミュニティの場を、実地で抽出していく 	<ul style="list-style-type: none"> 山王に望ましいコミュニティの場（試案） 地図を広げて山王におけるコミュニティの場の現況について議論した。 施設がなくても、座れる場所だけでもあれば十分コミュニティの場になりうる。日常的にふらりと立ち寄れる場が必要だということ共有した。 山王2丁目にコミュニティの場が不足。人が集まる場所としてジャーマン通りにコミュニティの場が生まれることが望ましいことを共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的にコミュニティの場になりそうな場所を挙げ、今後情報収集を進めることとした。（高齢者センター、ジャーマン通り商店会） 今年度の議論の内容を再確認し、来年度以降、実現に向けた実態の把握、ジャーマン通りでの検討を行っていくことを共有した。
3. まちの危険箇所の把握	<ul style="list-style-type: none"> 山王地区の危険箇所や、鉄道東西移動の円滑化の支障箇所等を把握し、誰もが安心して、快適に暮らせる、ユニバーサルデザインのまちづくりを目指す。 区計画等と連携を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図を広げて、山王地区の危険箇所について議論した。 歩行者（特に通学児童）にとっての危険箇所について議論を進めていく方向で検討。 地図に通学路を落とし込み、再度危険箇所について議論した。 交通危険箇所の解消に向けた対応策として、実現に向けて時間のかかるものとすぐに実行できるもの2つに整理された。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所の解消に向けた提案について議論した。 個別対策の他にも、山王地区全体の対策案の必要性が共有された。 交通危険箇所の解消の他に防災公園の必要性も議論された。 今年度の意見をまとめ、新年度の方針をたてることを確認した。
4. 池上通り沿いのまちづくりに関する検討	<ul style="list-style-type: none"> 池上通り沿いのまちづくりに関する話し合いの場づくり準備 商店会長個別訪問により、池上通り拡幅に関する情報提供を行う 商店街会合等の機会を捉えて、資料提供等を行う（池上通りの現状や課題等について） 	<ul style="list-style-type: none"> 新柳会、山王三丁目商店街、柳会、各会長へのヒアリング 山王CoCo 商店街理事へのヒアリング。 外部検討部隊としての大学研究室への声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街として、協議会主導の話し合いの場づくりへの参加は了承を得た。 平成29年度以降は、大学研究室との連携により、検討を進めていく方向となった。
5. 地元への情報発信の積極化	<ul style="list-style-type: none"> 当協議会への参加呼びかけを行うとともに、「憲章」「協定」のさらなる周知を図り、まちづくり活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント等への参加 まちづくり協議会への参加呼びかけ 山王まちづくり協議会ニュースの発行 ホームページの更新、資料の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 緑のまちづくりイベントである、環境フォーラムにて、パネル展示を行い、協議会活動の周知を図った。 山王地区6,000戸にニュースを配布し、協議会活動の状況報告を行った。 勉強会開催日程に関して、ホームページの更新・ポスター設置、はがき配布等を行い、新たな協議会への参加者も得た。さらに今後のホームページへの総会資料のアップロードもを行い、情報発信の積極化を図った。

3. 5か年計画に基づく平成28年度の評価

■Checkの方法

- ・H28年度の成果（達成したこと・成果物）／課題（取り組みが不十分だったこと）の整理
→改善策の方向性（H29年度の活動の方向性）

■平成28年度取り組みテーマ

1. 多様な活動団体との連携等
2. コミュニティの場づくり
3. まちの危険箇所の把握
4. 池上通り沿いのみちづくりに関する検討

■成果（目指すべき5年後の協議会のあり方より）

評価	成果		課題
	Prj	成果物	
①情報 BANK として機能している。 ・山王のまちづくり情報集約	1	・山王まちづくり団体の概要整理 ・ニュース発行	①山王まちづくり情報の体系化 →（各団体で調整しやすくなる）
②質の高いまちづくり提案を行っている。 ・具体的なまちづくりテーマ設定 ・目に見える形を意識した提案 ・大森GD、行政計画に沿った取り組み	2	・「コミュニティの場」モデルの作成	②活用可能空間候補 ③活用に向けた、各方面（行政・商店街）調整
	3	・危険箇所マップの作成	④危険箇所解消に向けた検討手順整理、関係者との共有
	3	・災害時避難機能を有する複合機能構想案	⑤活用可能土地・建物の洗い出し・調整 ⑥開発主体の検討
	4	・池上通りについて話し合う場に向けた体制づくり	⑦話し合う場でのテーマ設定 →参加を誘因するテーマ・資料設定 ⑧住宅地・商業地の共存の考え方
③地域内まちづくり活動のつなぎ役となっている。 ・各種団体のハブ的存在を目指す ・自立するまちづくりの母体	1	・山王まちづくり団体の取り組み概要整理	⑨共同提案に向けたアイデア出し →具体テーマによる話し合い
④まちづくりの担い手を育てる場となっている。 ・情報発信の深化・多様化 ・若い世代等の積極的な参加促進 ・「活動部会」の設置	1	・山王まちづくり団体のヒアリング	⑩参加者の増加 →アプローチ方法の多様化
	4	・池上通りについて話し合う場に向けた体制づくり	⑪住宅地・商業地双方の共存に向けた、参加者の多様化 →参加しやすい場・時間帯等の検討

4. 平成29年度 協議会活動方針（案）

（1）5カ年計画に基づく平成29年度協議会活動方針（案）

1. 緑あふれる美しい街並みづくり

住宅地、商業地など、それぞれの特性を活かした山王らしい、まちづくりのルールの検討、研究を行います。

具体的な活動内容例：

- ・みどりの住宅地イメージの浸透、「駅前顔づくり」への提案・協力、良好な住宅地とにぎわいある商業地の調和の実現 など

2. コミュニケーションの場づくり

協議会参加の間口を広げ、多様な人々が参加できる場となることを目指します。

また、山王地区内での多様なコミュニケーションの場づくりに向けた検討を進めます。

具体的な活動内容例：

- ・多様なまちづくり団体との連携、間口が広く多様性のあるまちづくり話し合いの場、空き家・空き店舗の積極的活用等によるコミュニティの場づくり など

3. 利便性の向上

地域の状況把握に努め、山王のまちづくりに関する諸問題に取り組みます。また、緊急性のある課題が生じた際には、柔軟に対応することとします。

具体的に活動を推進していく為のまちづくり手法について理解を深めます。

具体的な活動内容例：

- ・池上通り沿いのみちづくりに関する研究、山王地区の商業機能の維持・活性化検討、まち案内サポーターの検討、まち情報にどこでも触れられる仕組み検討（サイネージ等） など

4. 安心・安全なまちづくり

高齢者の方やファミリー世帯など、山王地区に住む多様な方々が永く住み続けられるよう、安心・安全な環境づくりを目指します。

具体的な活動内容例：

- ・狭あい道路の円滑な車両通行に向けた取り組み、自転車・歩行者の分離方策検討、山王防災マニュアルの地域への浸透、防災イベントへの参加、老朽化空き家の適切な管理等協力 など

5. まちづくり協議会の周知、活動の充実

当協議会への参加呼びかけを行うとともに、「憲章」「協定」のさらなる周知を図り、まちづくり活動の充実を図ります。

具体的な活動内容例：

- ・まちづくり協議会への参加呼びかけ、イベント等への参加・企画、山王まちづくり協議会ニュースの発行、ホームページの活用 など

(2) 平成 29 年度の進め方個別テーマ (案)

協議会での活動個別テーマ (案)

1. 提案実現に向けた検討
2. 池上通りまちづくり
3. その他・情報発信の多様化等

1. 提案実現に向けた検討

昨年度、協議会としてまとめた、3つのテーマに対し、具体的な展開方策を検討していく。

①山王コミュニティの場合

- ・モデル適用に向けた場所探し・声掛け (山王高齢者センター、ジャーマン通り商店街等)
- ・実現に向けたロードマップの作成・検討 (資金面や、条例上の整理)

②災害時危険個所の改善

- ・安全・安心まちづくりに取り組む取り組み団体ヒアリング・共同提案の可能性検討

③複合施設の研究

- ・提案内容の深化

など

2. 池上通りまちづくり

商店街の話し合いの場を開催し、池上通のまちづくりについて話し合いをスタートさせる。

東京理科大学との連携のもと、協議会としての案の検討を深めていく。

- ・話し合う場の設立
- ・拡幅を契機とした商店街まちづくりの考え方
- ・住民アンケート実施→参加者への協議会 PR にも結びつける
- ・商店街を使いこなして、まちの課題を解決する案。(高齢者支援・介護・ファミリー)

など

3. その他・情報発信の多様化等

広く住民への情報提供を図るため、情報発信・周知に関する課題整理を行う。また、昨年度つながりのできたまちづくり団体を中心として、共通の情報発信方策等の検討を行う。

- ・まちづくり情報の体系化→各団体と話し合いのきっかけや、住民への情報提供
- ・H28 年度ヒアリングの活動団体との連携 (情報チャンネルの積極的活用)
- ・情報発信ツールの深化 (例: まち情報を勉強会開催チラシに掲載する)

など

5. 大森駅山王口地区まちづくり協議会会則

(名称と範囲)

第1条 本会は、大森駅山王口地区まちづくり協議会（以下「協議会」という。）と称する。

2 大森駅山王口地区の範囲は、山王一・二・三・四丁目の山王地区五町会内とする。

(目的)

第2条 協議会は、参加者の総意に基づく運営により、地域の特性を生かす「魅力あるまちづくり」を目指し、総合的かつ全体的な構想のもとに実効性のあるまちづくり事業の推進を目的とする。

(参加資格)

第3条 協議会の参加資格は、次の各号に定める者とする。

- (1) 大森駅山王口地区内の自治会・町会
- (2) 大森駅山王口地区内の商店会
- (3) 大森駅山王口地区内の活動団体
- (4) 大森駅山王口地区内に居住する団体及び個人
- (5) 大森駅山王口地区内の土地・建物を所有する団体及び個人
- (6) 大森駅山王口地区内のまちづくりに協力する団体及び個人

(参加者の権限)

第4条 協議会の参加者の権限は、次の各号のとおりとする。

- (1) 総会で定める会費を納入する者 総会で発言権及び議決権を持つ。
- (2) 総会で定める会費を納入しない者 総会で発言権を持つ。

(活動内容)

第5条 協議会は、第2条の目的を達成するため、次の各号の事項を行う。

- (1) まちづくりのあり方について、参加者の意見に配慮し、合意形成に努めること。
- (2) まちづくりに必要な情報の収集、提供、調査及び研究を行うこと。
- (3) まちづくり計画をまとめ、関係住民の同意に努めること。
- (4) 区策定のまちづくり計画について、検討し意見を述べること。
- (5) まちづくりのコンサルタント・プランナーを選定し、その助言及び助力を受け、まちづくり構想計画を策定すること。
- (6) その他、まちづくりに関すること。

(資産の構成)

第6条 協議会の資産は、次の各号により構成する。

- (1) 第4条第1号に規定する参加者が納める会費

- (2) 資産から生ずる収入
- (3) 寄付金、協賛金
- (4) 区助成金
- (5) その他の収入

(資産の管理)

第7条 協議会の資産は、会長が管理し、その方法は総会の決議を経てこれを定める。

2 協議会の経費は、資産をもって支弁する。

(役員)

第8条 協議会は、次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1 名
- (2) 副会長 2 名以上
- (3) 会計 2 名以上
- (4) 会計監査 2 名以上

2 役員は、総会において第 4 条第 1 号に規定する参加者の中から選任する。

3 役員に欠員が生じても、協議会の運営に支障のないときは、これを補充しないことができる。

(役員職務及び任期)

第9条 協議会の役員職務は、次の各号によるものとする。

- (1) 会長は協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときはこれを代行する。
- (3) 会計監査は会計を監査する。

2 役員任期は 2 年とし、再任を妨げない。

(運営等)

第10条 協議会において決定すべき事項は、関係住民と協議し、合意に達するまで努力する。

2 協議会における決定事項及び必要と認められた事項は、随時、関係住民に周知する。

3 協議会は原則として公開とし、関係住民及び協議会の承認を受けた者は、傍聴し参考意見を述べる
ことができる。

4 協議会は、必要に応じて区その他行政機関の出席、資料の提出を求めるものとする。

(総会)

第11条 協議会は、総会を毎年開催し、その他必要の都度、臨時総会を開催するものとし、いずれも
会長が参加者を招集する。

2 総会で決議すべき事項は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 会則の変更・改正
- (2) 解散
- (3) 役員任免

- (4) 第4条第1号に規定する参加者の承認
 - (5) 事業計画並びに収支予算の決定・変更
 - (6) 事業報告及び収支決算の承認
 - (7) その他、協議会の運営を遂行するための事項の決定・承認
- 3 協議会の参加者の3分の1以上の連名をもって、会議の目的たる事項を示して総会開催請求を行われたときは、臨時総会を開催しなければならない。
- 4 総会及び臨時総会の開催は、召集日の5日前までにその目的である事項及び日時・場所を示した書面をもって、参加者に通知しなければならない。
- 5 総会で決議すべき事項は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは会長が決定する。

(事務局)

第12条 協議会の事務局は、会長宅に置く。

(事業年度)

第13条 協議会の事業年度は、毎年4月1日より始まり翌年の3月31日をもって終わるものとする。

(付則)

この会則は、昭和62年4月1日から施行する。

(付則)

この会則は、平成9年6月30日から施行する。

(付則)

この会則は、平成13年6月28日から施行する。

(付則)

この会則は、平成23年4月1日から適用する。

■資料 平成28年度の活動報告資料

1. 多様な活動団体との連携等
2. コミュニティの場づくり
3. まちの危険箇所の把握
4. 池上通り沿いのみちづくりに関する検討
5. 地元への情報発信の積極化

1. 多様な活動団体との連携等

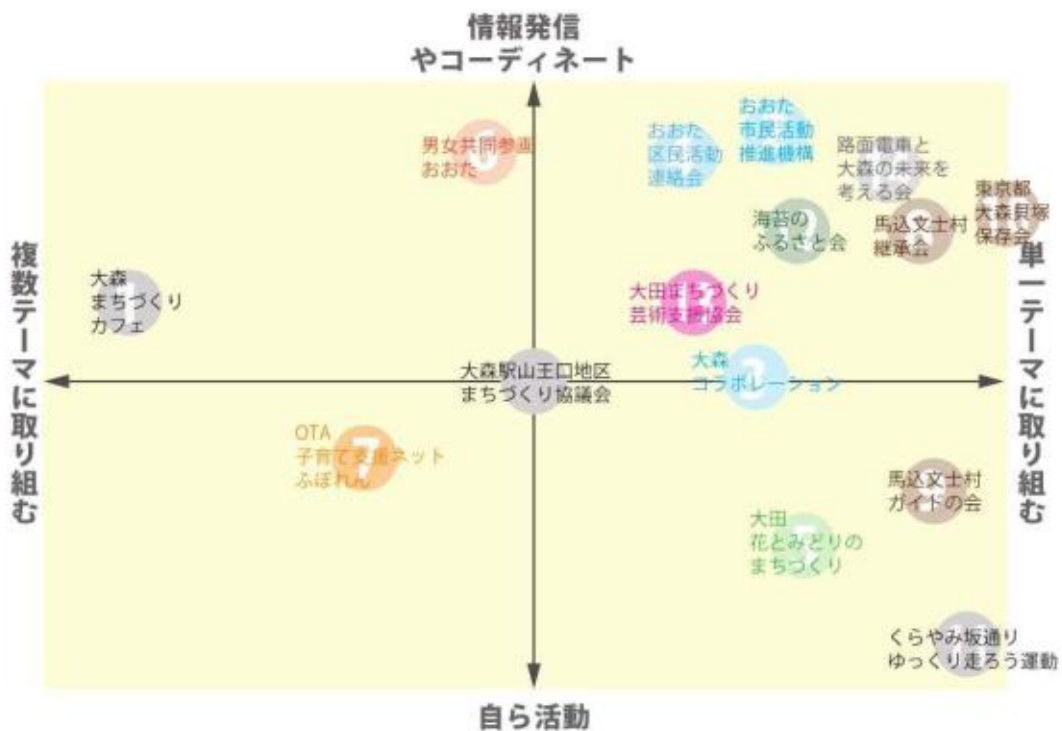
大田区山王周辺まちづくり団体(リストアップ団体)

No	団体名	概要	活動内容
1	NPO 法人 大森まちづくりカフェ	【設立】2004.4 【会員数】67人 【目的】 まちあるきのイベント企画や地域情報紙の発行などの事業を通じて、まちがもっといきいきするような交流の「場=Cafe」の構築・創造を目指して、活動している。	まちをつなぐ8つの事業として次のことを行っている。 ①まちあるき 「ちがいを知るまちあるき」の実施 ②イベント企画 地域資源を生かしたイベント企画 ③情報紙発行 地域情報紙「大森まちづくりカフェ」の発行。 年4回、20,000部/回発行 ④人材育成 まちカフェ夜学、まち記者カレッジ。地域アナウンサー講座など ⑤広報/企画支援 各種マップ・チラシなどのデザイン・制作。「おおたオーガニックファーム」の運営 ⑥アート事業 大森アートヴィレッジプロジェクト、おおたアーティストインレジデンスの実施 ⑦国際交流 国際交流団体との連携・協働 ⑧被災地支援 宮城県東松島市、南三陸町歌津地区田の浦での復興まちづくりの支援
2	NPO 法人 おおた市民活動推進機構 (ぷらっとホーム大森)	【設立】2006.4.29 【会員数】97人 【目的】 市民が自治する社会を実現することを理念に、市民活動団体が連携と協力をしあい、市民活動を発展促進していくことを目的に、市民活動支援・相談、協働オフィス“ぷらっとホーム大森”の運営、新感覚社会貢献 web マガジン「やるじゃん! おおた」の発行などの活動を行っている。	・協働オフィス“ぷらっとホーム大森”の運営。 ・新感覚社会貢献マガジン「やるじゃん! おおた」(フリーペーパー・季刊 3万部)の発行。
3	NPO 法人 大森コラボレーション	【設立】2006.3 【会員数】46人 【目的】 だれもが住みたいと願うまちづくりをめざして、大田区区民活動支援施設こらぼ大森を拠点にさまざまな人たちが出会い、交流できるよう活動している。	・小学校跡地を利用した区民活動支援施設「大田区区民活動支援施設こらぼ大森」の管理・運営。 ・NPO 活動などへの情報提供や支援講座。 区民活動団体に向けた講座事業の企画運営、NPO 設立相談、団体間のネットワークづくりのコーディネートなど。
4	おおた区民活動団体連絡会	【設立】2011.4.16 【会員数】45人 【目的】 大田区内に本部、または活動拠点をもち区民活動団体が、その規模や分野にかかわらず、対等な立場で、考え方の違いを認め合い、交流を深めながら、情報・意見の交換などを行う。この会において、それぞれの団体の特性を発揮し、ネットワーク形成の促進をめざし、地域が暮らしやすく元気になることを目的として活動する。	1. 組織運営 総会、世話人会、連絡会にゆーず 2. 交流事業 団体データブック、納涼交流会、区民活動ツアー 3. 連携協力事業 各種懇談会(区役所、区議会議員、区社会福祉協議会)、NPO・区民活動フォーラムへの参加 4. 学習会事業 茶論(さろん)
5	NPO 法人 大田・花と みどりのまちづくり	【設立】2003.4 【会員数】141人 【目的】 大田区をフィールドに、ボランティア活動を通じて地域の緑化と緑の普及啓発を行い、豊かさ・潤いのあるまちづくりに寄与することを目的とする。	・駅前花壇、圃場、区民農園の樹木管理、花苗の育成。 ・緑化啓発を目的とした園芸セミナー、地域イベントへの参加 ・ガーデンヘルパーズクラブ(個人や企業の要望から園芸関連のサポート)
6	NPO 法人 男女共同参画おおた	【設立】2003.12 【役員・職員数】24人 【目的】 大田区「男女共同参画推進プラン」に則した事業の展開、男女平等の実現に向けた区民及び団体の自主活動の支援など、男女がともに個性と能力を十分に発揮できる社会の形成を目的とし、市民と行政との「協働」によって男女平等、	・大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」の運営・管理。 ・大田区「男女共同参画推進プラン」に即した事業の展開。 ・男女平等の実現に向けた区民及び団体の自主活動の支援。 ・男女平等の啓発講座。 ・特に女性の自立をめざした再就職講座、起業家養成。 ・大田区内外での審議会等への参加。

		男女共同参画の地域づくりに貢献すること。	など
7	OTA 子育て支援ネットふ ぼれん	【設立】 不明 【会員数】 不明 【目的】 次の4つを目的として活動 ①子どもと子育て家族に関する事柄へのさまざまな働きかけ。 ②障害児とその家族に関する事柄へのさまざまな働きかけ。 ③男女平等推進に関する事柄へのさまざまな働きかけ。 ④成熟した市民社会の実現に関する事柄への自治体と区議会への働きかけ。	<ul style="list-style-type: none"> 親子で楽しめるイベントの開催 こどもと子育て家族応援の仕組みづくり、区議会各会派との意見交換会
8	NPO 法人 馬込文士村継承会	【設立】 2004.6 【会員数】 74 人 【目的】 広く一般市民を対象として大田区の馬込、山王近辺に居住していた文士や芸術家の活動等の調査研究を中心に、身近にある有形、無形の文化遺産の保存、継承、発信の活動を通じ、歴史的な遺産を見直すことにより、人々の心にゆとりと生きがいを取り戻し、豊かな社会の実現へ寄与することを目的とする	<ul style="list-style-type: none"> 馬込文士村で活躍した文士や芸術家について、その関係者による文化講演会。 現在、大田区を中心に活躍する芸術家や文化人による文化講演会。 「時の話題」について「時の人」に語ってもらう文化講演会。 年間 2～3 回の馬込文士村や他地区の文士村の散策会の企画立案と主催。 馬込文士村散策に関して改善点の提案、新たな散策ルートの開拓。 文化遺産の保存に関する活動（陳情、提案）。 豊かな心を取り戻すため、一流の演奏家やオペラ歌手によるコンサートの企画立案と主催。 大田市場関係者による食文化の研究、食文化講演会ならびに試食会等の主催。
9	馬込文士村 ガイドの会	【設立】 2005.12 【会員数】 42 人 【目的】 馬込文士村のガイドをボランティア精神をもって行い、会員は夫々楽しみ、相互に研鑽し、もって馬込文士村の地位を高めることにある。 その結果、当地域への来訪者の増加が図られ、地域の活性化に寄与することを期する。	<ul style="list-style-type: none"> 文士たちゆかりの地を地域の歴史とともにガイドする。 文士村関連の研究活動、研修会、見学会、講演会など。 広報活動 親睦会
10	東京都大森貝塚保存会	【設立】 1965.11.27 【会員数】 100 人 【目的】 日本考古学発祥の地である大森貝塚の保存とその名実の顕彰をはかり、併せて E S モース博士の偉業を替える事によって日本文化の発展に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> 大森貝塚関連の講演会など。 小学校における授業の開催 まち歩き 50 周年時には冊子を作成
11	くらやみ坂通りゆっくり 走ろう運動	【設立】 2011.1.29 【会員数】 50 人 【目的】 闇坂通り沿道の地域住民が主体となって、人とクルマの安全な共存を目指し、道路の短期的改善策及び長期的な面的整備も見据えた施策の立案及び実施に向けた活動を自治体や警察署等と協働して行うべく活動している。	<ul style="list-style-type: none"> 街頭での車両への「思いやり運転」の呼びかけ運動。 まちあるきワークショップ。 ソフト Q カーを使用した走行実験イベント。
12	山王を考える会		<ul style="list-style-type: none"> 地区計画の策定に向けた勉強会
13	大森クラブ	・地元名手の集まり	<ul style="list-style-type: none"> 清浦坂プレート、天祖神社プレートの設置
14	ジャーマン通り 花植クラブ	【会員数】 約 30 人（山王 1 丁目、2 丁目、南馬込の方が参加）	
15	大森コレカラ会議		<ul style="list-style-type: none"> 子供向けイベント アキナイ山王亭 若い人が多く参加

大田区山王周辺まちづくり団体

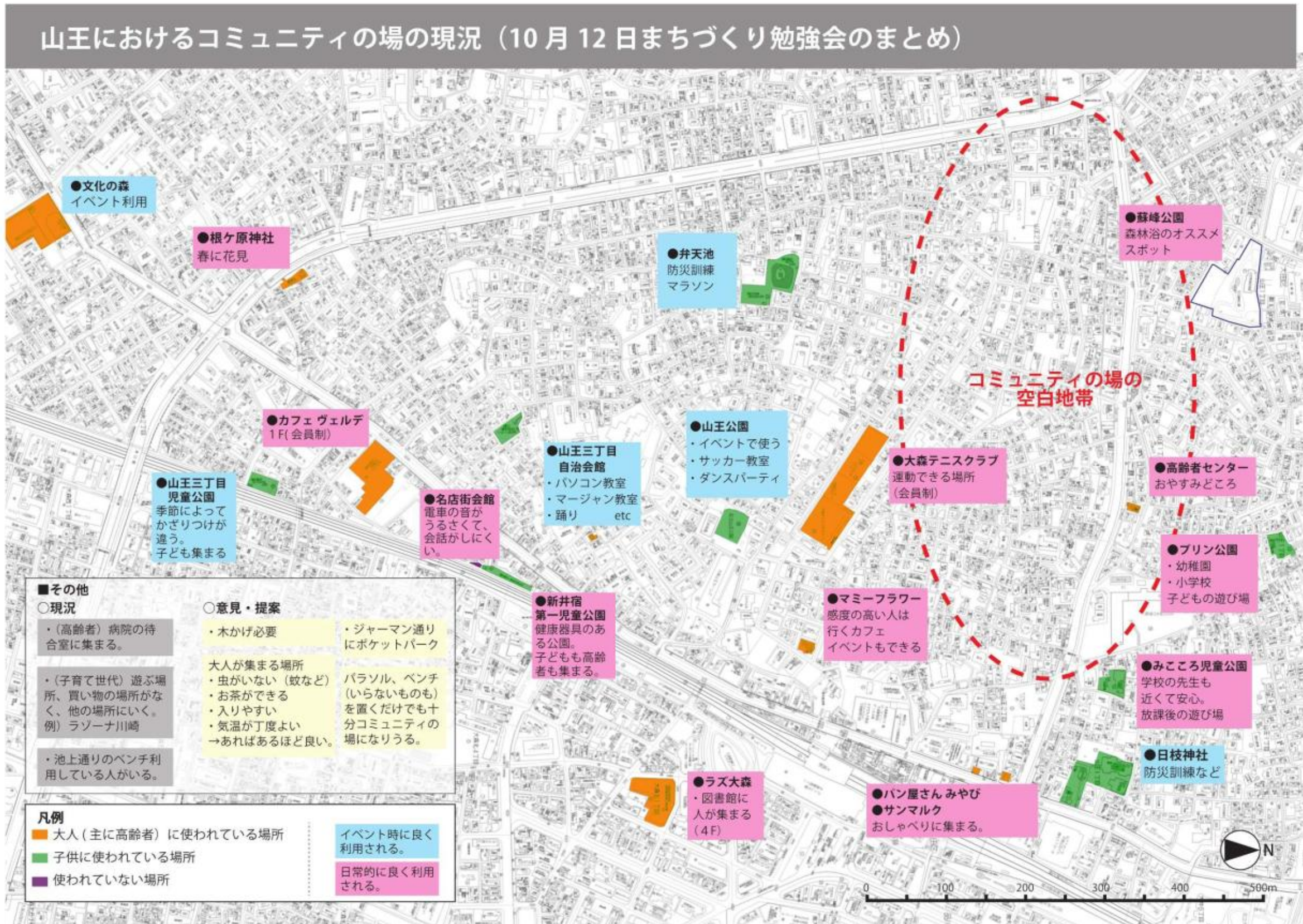
- ① NPO 法人大森まちづくりカフェ
- ② NPO 法人おおた市民活動推進機構 (ぶらっとホーム大森)
- ③ NPO 法人大森コラボレーション
- ④ おおた区民活動団体連絡会
- ⑤ NPO 法人大田・花とみどりのまちづくり
- ⑥ NPO 法人男女共同参画おおた
- ⑦ OTA 子育て支援ネットふぼれん
- ⑧ NPO 法人馬込文士村継承会
- ⑨ 馬込文士村ガイドの会
- ⑩ 東京都大森貝塚保存会
- ⑪ くらやみ坂通りゆっくり走ろう運動
- ⑫ NPO 法人海苔のふるさと会
- ⑬ NPO 法人大田まちづくり芸術支援協会 (asca)
- ⑭ NPO 法人路面電車と大森の未来を考える会



大田区山王周辺まちづくり団体(ヒアリング団体)

団体名	主旨	内容		連携
		情報発信	活動	
大森貝塚保存会	<ul style="list-style-type: none"> ・モースの偉業を検証。 ・文化遺産の保存整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史本の発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記念式典の開催 (年一回の献花をJRと行う。駅での展示。) ・講演会の開催。 ・地元小学校(大井第一小学校)にレクチャー。 ・月に一度の定例会をNTTデータ会議室にて開催。15人程が集まる。 ・散策ツアーの開催。 ・記念碑設置の要望。(実績例:ドイツ学園跡地、池上通りなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ○統一した記念碑のデザインフォーマットの提案。(現在デザインは開発業者によってバラバラ) ○山王まち資源マップへの資源随時追加。
大森コレカラ会議	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの可能性を広げる。 ・様々な人たちのふれあいを通して「気づき」を共有する。 ・地域の情報を得る 		<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの案から企画を作成している。今までの実績例は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ーリトルアキナイ(子供の職業体験) ーコレカラファミリア(地域祭り) ー夏祭り ー商店街で結婚式 ーガラクタライズ(商店街の廃材を利用した作品づくり) 	<ul style="list-style-type: none"> ○コレカラ会議にて池上通りのニーズを聞く ○花植えへのコレカラ会議メンバー(子供たち)の参加 ○まちのイベントカレンダーの作成 ○お互いのツール(インターネット、掲示板)でお互いの情報も広報しあう。
ジャーマン通り 花植クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの美化 ・ジャーマン通りのイメージアップ 		<ul style="list-style-type: none"> ・花のメンテナンス ・ゴミ拾い ・景観コンテストへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○花植えへのコレカラ会議メンバー(子供たち)の招待 ○お互いのツール(インターネット、掲示板)でお互いの情報も広報しあう。
大森まちづくりカフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・大森を心地よく楽しいまちにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「大森まちづくりカフェ」の発行 ・「まちづくりカフェ」と「アートヴィレッジ」の2つでHPを作成し情報発信をしている。また Walkerplus で大森の情報発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きイベント-イルミネーションなど良いと思ったものに感謝状を配布する。 ・アート事業 <ul style="list-style-type: none"> -ユニバーサルワークショップ -アーティスト・イン・レジデンス:山王会館を使用。安全に制作が出来て良いと評判。 ・人材育成 「まちカフェ夜学」 ・大森貝塚保存会との交流、海士町との研修交流会、三陸地方における活動など他地域、他団体との交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アート事業との連携による、まちのペインティング 例) ガード下の部分にペインティングをして落書きの防止をはかる。 ○まちの資源マップの作成 ○ママさん記者の協力を得て、池上通り拡幅に関するインタビューや情報発信をお願いする。

2. コミュニティの場づくり



山王のコミュニティの場の不足箇所

- 山王二丁目周辺に少ない。
- 場の不足を解消するため、商店街も形成されているジャーマン通り沿いにコミュニティの場が生まれることが望ましい。
- 現在では、公共のコミュニティの場としては「大森山王高齢者センター」が比較的に利用されている。



■高齢者センターの現状について

- ジャーマン通り沿いと施設の裏手に駐輪場が設けられているが、あまり利用されていない。
- ジャーマン通り沿道の駐輪場の位置は日当たりもよく、バス停も目の前にあり様々な人が集まりやすい。



▲ジャーマン通り沿いの駐輪場



▲高齢者センター裏手の駐輪場

山王のコミュニティの場のタイプ

土地だけ

建物もある

人が集まり、コミュニティの場になっているのはどこだろう？（前回勉強会での話し合い）

遊び場に子供が集まる

- ・プリン公園
- ・みこころ児童公園

体を動かしに大人が集まる

- ・大森テニスコートクラブ
- ・新井宿第一児童公園：健康遊具がある

地域のイベントに集まる

- ・弁天池：防災訓練やマラソン大会
- ・山王公園：サッカー教室やダンスパーティ
- ・根ヶ原神社：お花見

森林浴を楽しむ

- ・蘇峰公園



▲プリン公園（区立山王第一児童公園）



▲弁天池（写真はマラソン大会の様子）

お茶をしながら、おしゃべりに集まる

- ・マミフラワー
- ・パン屋さん みやび
- ・サンマルク
- ・カフェ ヴェルデ：キッズスペースのあるおやこカフェ

趣味・テーマで集まる

- ・山王三四丁目自治会館：パソコン教室、麻雀教室 など
- ・文化の森

独りで時間を過ごす

- ・ラズ大森（4階図書館）



▲マミフラワー



▲おやこカフェ Verde

利用されている

山王にないコミュニティの場は・・・？

場のタイプ

子育て世代

- ・子供を遊ばせておけて、大人も買い物やお茶をして楽しめる場所。
- ・休日に子供を遊ばせることが出来る場所。（川崎に行ってしまう）。

大人

- ・気軽に立ち寄れて、おしゃべりができる場所はあればあるほどよい。（特に2丁目）
- ・パラソル、ベンチを置くだけでもコミュニティの場になりえる。

少ない場所

- ・二丁目付近。ジャーマン通りにポケットパークがあると良い。

山王地区に望ましいコミュニティの場（試案）

山王にないコミュニティの場は・・・？

場のタイプ

子育て世代

- ・子供を遊ばせておけて、大人も買い物やお茶を楽しめる場所。
- ・休日に子供を遊ばせることが出来る場所。（川崎に行ってしまう）。

大人

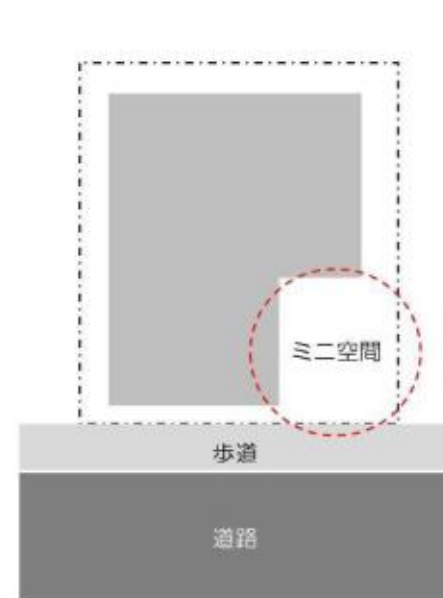
- ・気軽に立ち寄れて、おしゃべりができる場所はあればあるほどよい。（特に2丁目）
- ・パラソル、ベンチを置くだけでもコミュニティの場になりえる。

少ない場所

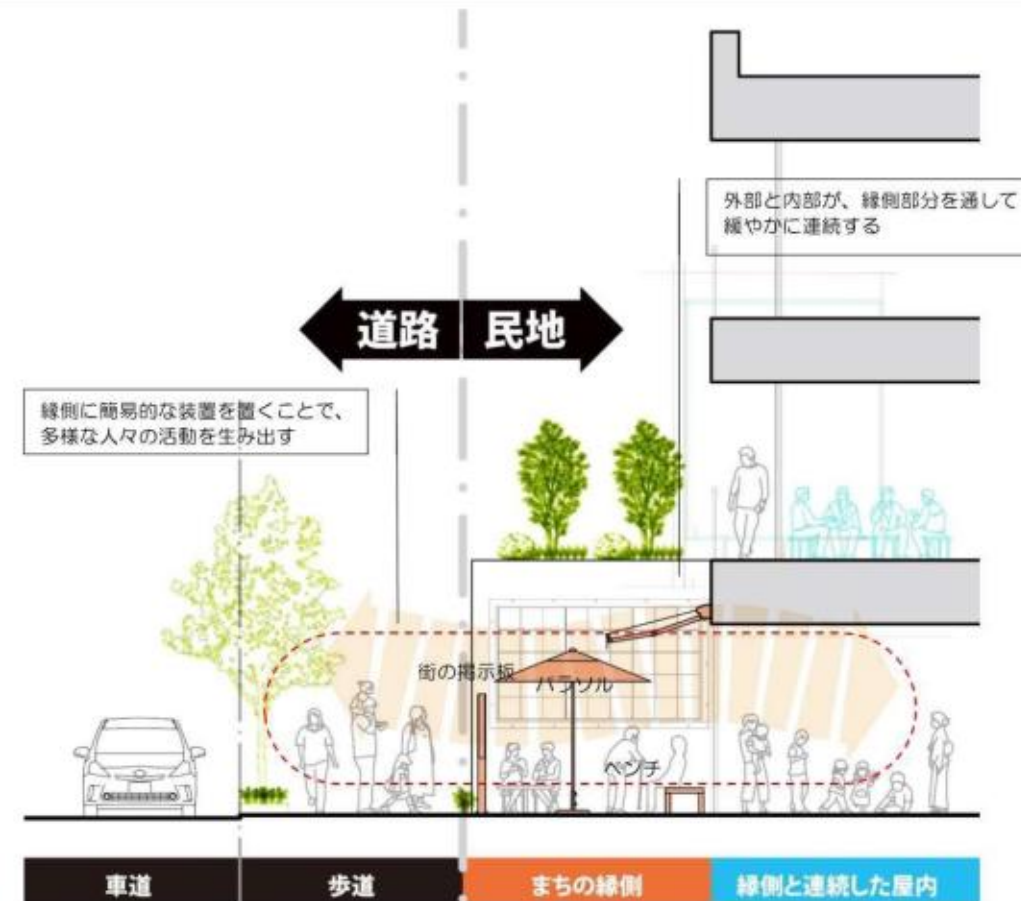
- ・二丁目付近。ジャーマン通りにポケットパークがあると良い。

【コミュニティの場の作り方（簡易版）】

- ・建物前の小さな空間を、「まちの縁側」としてしつらえる。
- ・地域住民の多様な活動を生み出す場として活用する



まちの縁側イメージ



■危険箇所に関する課題の整理

【いただいたご意見】

- ・見通しの悪い交差点
- ・自転車の下り坂からの飛び出し
- ・一方通行における逆走車
- ・池上通りの歩道が狭い（自転車と歩行者）
- ・放置自転車が歩道の幅を狭め、通行しにくい。
- ・自転車が歩道を通る
- ・車の曲がれない道
- ・暗闇坂通りのポールが歩行の妨げに
- ・電柱が通行の妨げになっている。
- ・狭い通りだが、両方向での車の通行が多い
- ・トラックの路上駐車（夜間）
- ・子供たちがヘルメットをしない
- ・道がガタガタ
- ・不審者がいる。
- ・ひったくりが多発。
- ・人通りの少ない道が通学路となっている。
- ・崩れそうなコンクリート壁
- ・開発によって道路幅員にズレがある。
- ・子供たちが通学する時間帯まで営業するBarが風紀を乱す

【課題仮説】

- 交通量が多いのは、池上通りと暗闇坂の東西道路で、
他の道路ははっきりなしに車・歩行者が通っているわけではない。
→逆に、交通量（歩行者・自動車とも）少ない+下り坂の条件の時に、スピードを出す、自宅へのアクセスのため交通規制を守らないなどの自体が生じている。
- しかし、地区全体にわたって道幅は狭いなかで、「歩行者にとって」危険な箇所が生じる。
→歩行者・自転車・自動車がすれ違う場面で危険が生じている。
→狭い歩行空間をさらに狭くするような要素が存在（放置自転車、ポール等）
- 夜は暗くなる道が多くなり、歩行に不安を生じる。
→人の目線が外に注がれにくい。また、道路上に街灯を置くスペースがない。

■危険個所に関する協議会提案

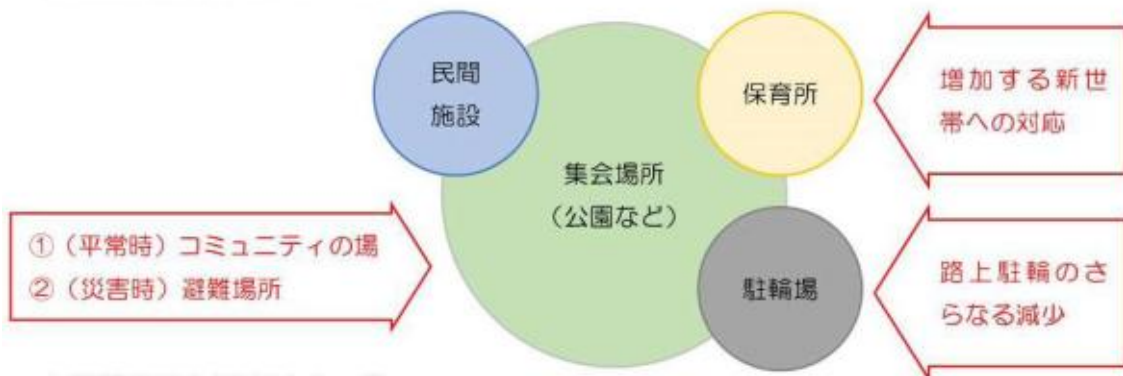
■危険個所の解消に向けた協議会の提案

- ・課題解決を図る複合的な施設の整備
- ・整備は民間にゆだねる。
- ・地域貢献機能として、
 - ・駐輪場
 - ・保育所
- ・集会場所（公園等）→災害時の避難施設の誘導を図る

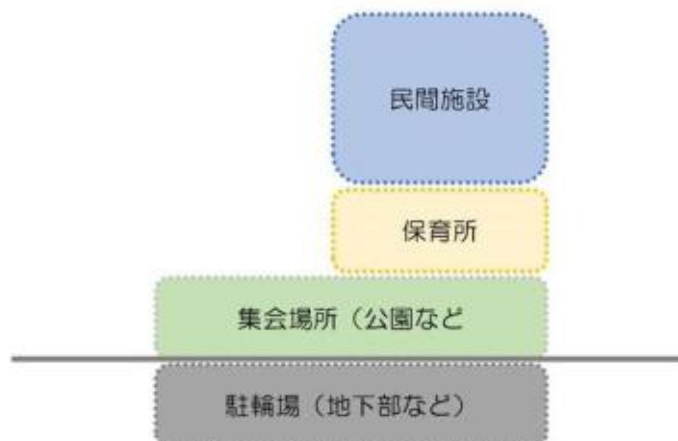
実現に向けた課題

- 整備箇所の確保
 - ・2丁目における活用可能な場所
（ジャーマン通り沿いYパーキング、既存西口駐輪場 など）
- 土地の取得費用、管理・運営主体
- 市場ニーズの把握
 - ・民間施設と抱き合わせで公共貢献機能の整備

■機能構成図（平面イメージ）



■機能構成図（断面イメージ）



4. 池上通り沿いのみちづくりに関する検討

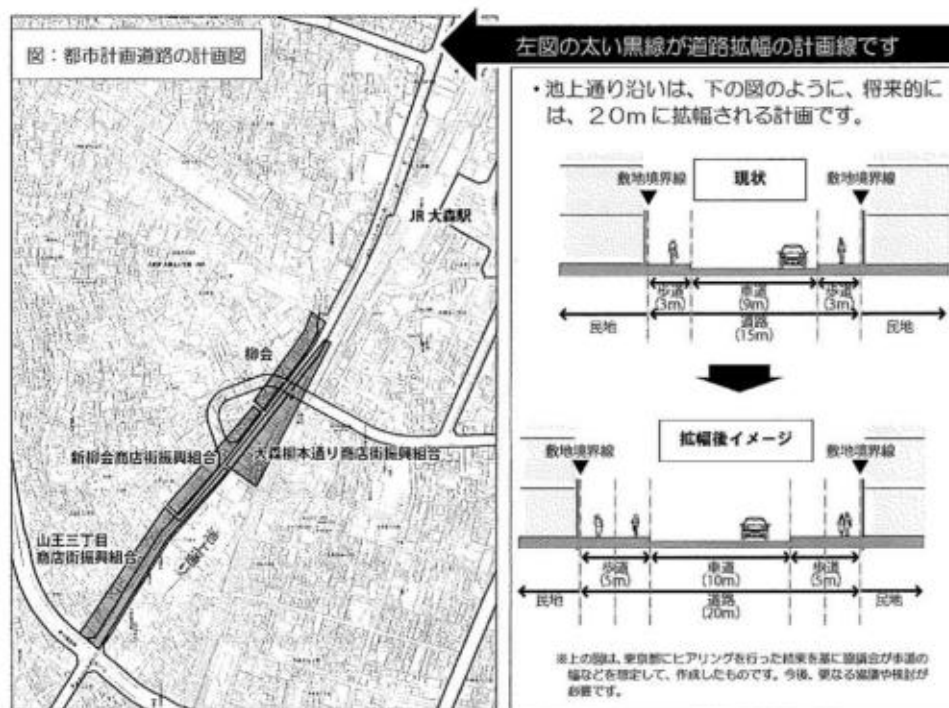
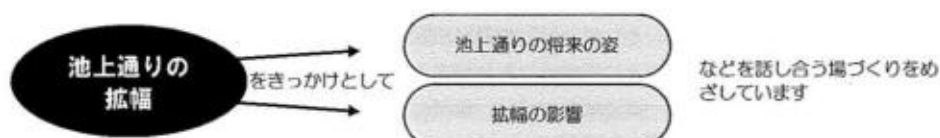
別紙（参考資料）

池上通り沿道のまちづくりを話し合う場を一緒につくりませんか？

大森駅山王口地区 まちづくり協議会 会長 浦野 栄一

大森駅山王口地区まちづくり協議会では、池上通り沿道のまちづくりを考える話し合いの場（以下、考える場）を、来年度（平成28年度）からつくって行きたいと考えています。

まずは今年度、池上通り沿道の商店街会長の皆さんと話し合いを重ねていきたくお声掛けをさせて頂いています。こういった場を設けたいと考えた理由は、「池上通り沿道の、将来の姿を一緒に考えていくこと」、「道路拡幅の影響を知ること」などです。



■想定スケジュールは

今年度平成27年度は、場づくり設置に向けて、山王三番街の商店街の会長様に、考える場設置の趣旨説明をさせて頂きたいと考えています。（場合によっては複数回、ご説明に上がります）

→お声がけさせて頂く商店街：①大森柳本通り商店街振興組合②柳会（山王ハーモニー-AVE）③新柳会商店街振興組合（山王Coco商店街）④山王三丁目商店街振興組合

主旨を理解いただき、参加にご賛同いただいた方に、来年度（平成28年度）以降、具体的にどんなスケジュールで、どんなことを話し合っていくのか、協議会としてご提案したいと思っています。

■大森山王・池上通りのまちづくりに関する検討について

1. 目的

- ・池上通りの拡幅後の通りの将来像、将来像実現に向けた事業手法等を協議会で検討中。
- ・検討結果を協議会として、地域（商店街・町会）へと提案していく。
- ・しかしながら、協議会メンバーの顔が見えているなかで提案を行うことは、地権者間の利害関係も関係してくるため、地域への受けとめかた含めて軋轢も想定される。
- ・そのため、大学研究室等による専門的な観点でまちの状況を診断・評価し、客観的なご提案をいただきたい。
- ・協議会と大学の連携イメージとして、以下の通り想定している。
 - (1) 協議会とは別に、池上通りの提案資料を作成する検討部隊（大学チーム）をつくる
 - (2) 検討部隊からの提案を一度協議会が受け、地域に対して「協議会として」提案する。
 - (3) 2～3年の短期で、プランを検討。
 - (4) 地元として案がまとまれば、それを大田区・東京都に提案し、通りの将来像実現に向けて動きを進めていく。

2. 検討内容（案）別紙（参考資料・地元調整用資料）

- ・メインテーマ：池上通りの拡幅のためのガイドライン・事業手法の検討
 - ・このほか、商店街活性化等のまちづくり実践活動
- ※検討に当たって、山王固有の条件（住宅・商業地隣接の用途地域の状況、歴史・文化等の状況を踏まえる。）

3. 提案を期待する内容（案）内容は、要相談。事業手法関係は研究テーマレベルかもしれません

- ・拡幅プラン（拡幅後の道路断面、ファサードデザイン等の街並みルール）
- ・事業手法について
 - －開発手法（敷地が狭い、住・商用途地域が隣合う特性を踏まえた、望ましい開発手法の在り方）
 - －モデル共同建替への考え方（概念プランや資金計画等、手法の実現性）
- ・地元の機運の高め方（ニュース等の発行）

4. 検討スケジュール（案）授業やゼミ、研究（卒論・修論）との兼ね合いで調整いただく

- ・H29年度（後半から） まちの状況を把握し、提案方針を固めていく
必要に応じて、地元商店街へのヒアリング、街頭インタビュー等
- ・H30年度 池上通りの将来像（拡幅プラン）・商店街活性化プランの提案
- ・H31年度 事業手法の提案

5. 検討の場として、山王協議会を活用いただく

- ・年3～6回程度勉強会参加（勉強会は月1ペースで開催）で、提案を固めていく。

【報告】

- 3商店街振興組合の理事長に、個々アプローチし、話し合いの場への参加を了承
- 残りの1商店街へのアプローチを引き続き行う。
- 他、具体的な話し合いテーマ設定が課題（テーマによっては協議会勉強会での話し合いの範囲を超えることもありうる。

	商店街名	理事	ヒアリング日時
①	大森柳本通り商店街 振興組合	佐藤理事長	10月17日(月) 11:00
②	柳会 (山王ハーモニーAVE)	(大花園・堀切様)	10月19日(水) 13:00
③	山王三丁目商店街 振興組合	沼田理事長	10月17日(月) 11:30

【いただいたご意見】(順不同)

- ・鉄道東西の円滑な交通確保は課題。特にガードについて。
- ・補助33号線は外したい
- ・拡幅により、東・西の商店街が分断されないようにしたい。
- ・課題は拡幅の話だけではなく、商店街の活性化にも関係している。
 - ・そもそも、店舗として続ける意思のない人たちが増えている印象。
 - ・世代交代が進んでいない。頑張っている若手は多くいる。(町田さん等はよく頑張っている)
 - ・新住民をうまく取り込めていない。
 - ・将来的には、大森銀座との連携も必要になってくると思われる。
- ・敷地・建物を所有しており、拡幅により削られる方は、まずは自らの店舗をどうするか、が最優先課題と思われる。
- ・特に奥行がない敷地・建物については、敷地共同化などの対応が必要になってくるだろう。



5. 地元への情報発信の積極化

下記の方法により、地元等への情報発信を行った。

	方法	概要
①	環境フォーラムへの出展	平成29年3月11日(土)にパネル展示
②	ニュース	山王地域の全戸(6000部)に投函
③	ポスター	勉強会への参加を呼びかけるポスターを掲示板に掲示

①環境フォーラムへの出展

平成29年3月11日(土)に開催された「環境フォーラム2017 こんなまちに暮らしたい ~広げよう、交流の輪!~」でパネル展示を行った。

▼当日の内容

